

熊本県花き協会トルコギキョウ部会 統一方針（目標年次：平成22年）

目標：作付面積・出荷量、そして産出額「日本一」の早期達成

目標：責任産地として、高品質生産技術・安定供給体制の確立

高品質トルコギキョウの生産

生産安定・開花技術確立
（プラスチック対策・開花遅延対策）

優良品種選定の為、各産地における
新品種展示ほの設置とデータ共有
・各産地に1箇所設置
（県内に6箇所程度）

種子冷、夜冷育苗技術の確立

現地における技術開発推進

低コスト生産の確立

- 省エネ推進
- ・多層カーテンの整備
- ・省エネチェックシートの整備
- ・循環扇の整備

安定供給体制の確立

高鮮度トルコギキョウの供給推進

各地域における切花出荷マニュアル
の整備

日持ち試験の徹底
・各生産者ごとに年1回の日持ち試
験実施。
目標：取組農家100%

日持ち期間の延長
・消費者に信頼される日持ち確保

環境に配慮したトルコギキョウ生産

連作障害の回避
物理性（排水対策、芯土破碎、暗渠）
化学性（pH、EC、ほか）
病虫害
減肥料・減農薬栽培の推進

- ・全戸土壌診断の実施
- ・防虫ネット整備率
- ・エコファーマーへの取組農家数
（認定数）現況：19戸
H18.9現在

参考：第7次熊本県花き振興計画におけるトルコギキョウの振興方策

- ・冬春期における生産安定開花技術確立（プラスチック対策・開花遅延対策）
- ・共同または個人の育苗施設の整備による種苗の安定供給
- ・低コスト育苗技術（種子冷蔵）の普及推進
- ・消費者へのPR強化による需要拡大